

## ○評価の全体概要

- ・ 今年度は、後期アクションプランの初年度となることから、計画に4年間の工程を掲げる「主な取組」をはじめとする施策のスタートが着実に切れているかの確認に主眼を置いた評価を行った。  
また、数値目標については、平成 26 年度からスタートした計画に対して、計画前の平成 25 年度を中心とする実績値となるため、昨年度に設定した基準値と直近値の水準を比較し、平成 29 年度の目標水準が適正であるかについての検証を実施した。
- ・ 「数値目標」については、「“ふじのくに”づくりの戦略体系」に掲げる 32 の数値目標のうち、数値の確定している 26 の数値目標について、4つの指標が「目標値以上」、7の指標が「A」の推移であった。また、「戦略ごとの具体的取組」に掲げる 261 の数値目標のうち、数値の確定している 234 の数値目標については、38 の指標が「目標値以上」、64 の指標が「A」の推移であった。
- ・ 「目標値以上」または「A」の推移となった「戦略ごとの具体的取組」の数値目標のうち、3指標については目標値の上方修正を行った。上方修正を検討する旨を白書に明示した4指標を含め、「目標値以上」となった数値目標については、計画初年度の成果が反映される平成 26 年度実績の推移等も踏まえた目標水準の適正化を図っていく。
- ・ 一方、全国の回復水準を下回る製造品出荷額等や、低い水準で推移した景況感などを反映し、経済関係分野をはじめ、暮らしや地域活動等に関する県民意識を測る指標を中心に「基準値以下」のものも見られる状況となっている。
- ・ 「基準値以下」となった数値目標（「“ふじのくに”の戦略体系」10、「戦略ごとの具体的取組」51）については、効果的な施策の推進を図り、引き続き平成 29 年度の目標達成に向けて取り組んでいく。
- ・ 工程表において4年間の取組内容を明示した「主な取組」については、491 の取組のうち、「前倒し」で実施（予定）」の取組が6、「計画どおり実施（予定）」の取組数は 484 と、計画の着実な実施が図られている。

### 1 “ふじのくに”づくりの戦略体系

#### （1）数値目標の推移の状況

##### ① “ふじのくに”づくりの戦略体系

戦略体系	数値目標の推移状況区分						
	目標値以上	A	B	C	基準値以下	—	計
1 「命」を守る危機管理体制の充実	0	0	0	0	0	2	2
2 徳のある人材の育成	0	1	0	1	3	2	7
3 豊かさの実現	0	2	2	1	7	1	13
4 自立の実現	4	4	0	1	0	1	10
計	4	7	2	3	10	6	32

## ②戦略ごとの具体的取組

戦略(大柱)	数値目標の推移状況区分						
	目標値以上	A	B	C	基準値以下	—	計
1 「命」を守る危機管理	6	5	4	1	3	6	25
2-1 「有徳の人」づくり	1	5	7	11	7	4	35
2-2 「憧れ」を呼ぶ“ふじのくに”づくり	6	10	4	7	9	5	41
3-1 一流の「ものづくり」と「ものづかい」の創造	1	7	11	5	5	0	29
3-2 「和」を尊重する暮らしの形成	4	14	2	5	12	5	42
3-3 「安心」の健康福祉の実現	7	12	4	4	6	7	40
4-1 ヒト、モノ、地域を結ぶ「基盤」づくり	2	4	5	5	2	1	19
4-2 「安全」な生活と交通の確保	2	6	1	1	2	0	12
4-3 地域主権を拓く「行政経営」	9	2	3	1	5	0	20
計(再掲含む)	38	65	41	40	51	28	263
計(再掲除く)	(38)	(64)	(41)	(40)	(51)	(27)	(261)

### （2）主な取組の進捗状況

戦略(大柱)	主な取組の進捗状況区分			
	◎	○	●	計
1 「命」を守る危機管理	0	43	0	43
2-1 「有徳の人」づくり	0	46	0	46
2-2 「憧れ」を呼ぶ“ふじのくに”づくり	0	83	0	83
3-1 一流の「ものづくり」と「ものづかい」の創造	0	84	1	85
3-2 「和」を尊重する暮らしの形成	1	56	0	57
3-3 「安心」の健康福祉の実現	3	110	0	113
4-1 ヒト、モノ、地域を結ぶ「基盤」づくり	1	33	0	34
4-2 「安全」な生活と交通の確保	1	14	0	15
4-3 地域主権を拓く「行政経営」	0	15	0	15
計	6	484	1	491

## 2 評価結果を踏まえた後期アクションプランの見直し

### (1) 数値目標の上方修正の実施または検討を行うもの

平成 25 年度実績等の最新値に基づく現在の水準の確認及び目標水準の妥当性等を検証した結果、「目標値以上」または「A」の推移となった数値目標のうち、3 指標について、目標値の上方修正を行ったほか、4 指標について、今後上方修正の検討を行うことを明示した。

#### ①数値目標の上方修正

戦略（大柱）	後期アクションプランの見直しの内容
3-3「安心」の健康福祉の実現	○ 安心して子どもを産み育てられる環境整備 ・ふじさんっこ応援隊の参加団体数（1,000 団体→1,100 団体）
4-2「安全」な生活と交通の確保	○ 犯罪被害者等に対する支援体制の確立 ・犯罪被害者支援に関する行政担当職員研修の受講者数（30 人/年→50 人/年）
4-3 地域主権を拓く「行政経営」	○ 民間等の能力や創意工夫を活用したサービスの提供 ・県と NPO、地域住民、企業等との協働事業件数→県と NPO、地域住民、企業等との協働取組件数（基準値 平成 24 年度 285 件→1,140 件） （目標値 300 件→1,600 件）

#### ②数値目標の上方修正の検討

戦略（大柱）	後期アクションプラン見直しの検討内容
2-1「有徳の人」づくり	○ 留学生支援の推進 ・県内高等教育機関から海外への留学生数
2-2「憧れ」を呼ぶ“ふじのくに”づくり	○ 伝統・歴史に培われた文化の継承 ・国・県指定文化財の新指定件数
4-1 ヒト、モノ、地域を結ぶ「基盤」づくり	○ 過疎・中山間地域の振興 ・中山間地域を訪れたいと思う県民の割合
4-2「安全」な生活と交通の確保	○ 交通事故防止対策の推進 ・自宅訪問により交通事故防止を呼び掛ける高齢者数

### (2) 数値目標の出典及び基準値を変更するもの

数値目標「木材生産量」については、国が実施する抽出調査より、本県独自に実施する全数調査の方が、より実態に近いと考えられるため、出典及び基準値を変更した。

戦略（大柱）	後期アクションプランの見直しの内容
3-1 一流の「ものづくり」と「ものづくり」の創造	○ 豊かさを支える農林水産業の強化 ・木材生産量（農林水産省「木材需給報告書」→県森林整備課調査） （基準値 平成 24 年 276,000 m <sup>3</sup> →260,457 m <sup>3</sup> ）

### (3) 施策や数値目標の見直しの検討等を行うもの

社会経済情勢の変化や事業の進捗等に伴い、12 施策の見直しの検討とあわせて新たな数値目標の設定等を検討していくことを明示した。

戦略（大柱）	後期アクションプラン見直しの検討内容
2-2「憧れ」を呼ぶ“ふじのくに”づくり	○ 富士山の適切な保存管理 ・保全状況報告書に求められる資産の全体構想及び来訪者管理戦略などの各種戦略に基づき、 <u>保全に係る取組の適切な数値目標を検討</u>
	○ 多文化共生社会の形成 ・多文化共生意識の定着度を複合的に測っていくため、より <u>実体面を把握する適切な数値目標の追加を検討</u>
	○ 学住一体のまちづくり ・今年度中に東静岡周辺地区の「 <u>文化力の拠点</u> 」の基本構想を策定するとともに、この地区の地域づくりの方向性に合致する <u>新たな数値目標の設定を検討</u>
3-1 一流の「ものづくり」と「ものづくり」の創造	○ 将来を見据えた産業構造の構築 ・今後、取りまとめる <u>産業成長戦略を踏まえた施策等の見直しを行い、官民が連携して具体的な施策として実行</u>
3-2「和」を尊重する暮らしの形成	○ 自ら学び自立する消費者の育成 ・国における消費者教育に関する指標の検討状況も参考にしながら、より <u>適切に事業効果を測ることができる指標の設定を検討</u>
	○ 男女共同参画の推進 ・今後、町内会等における女性役員の状況を把握した上で、 <u>実態面の進捗を測る指標の設定を検討</u>
3-3「安心」の健康福祉の実現	○ 男女共同参画の推進 ・国の計画策定等の動向を踏まえ、 <u>企業や行政における女性の登用に関する指標の追加を検討</u>
	○ 安心して子どもを産み育てられる環境整備 ・平成 27 年度からの「子ども・子育て支援新制度」の本格施行に伴い、今年度策定した「 <u>ふじさんっこ応援プラン</u> 」の内容を踏まえ、今後保育サービス等に関する数値目標の <u>設定を検討</u>
	○ 質の高い医療の提供 ・今年度中に策定する「 <u>第7次静岡県保健医療計画</u> 」における、 <u>医療機能の分化・連携を踏まえた適切な数値目標の設定を検討</u>
4-1 ヒト、モノ、地域を結ぶ「基盤」づくり	○ 障害のある人の自立と社会参加 ・今年度中に策定する「 <u>第4期静岡県障害福祉計画</u> 」を国の方針に基づき策定するとともに、 <u>障害福祉サービス等に関する数値目標の設定を検討</u>
	○ 介護人材の確保と資質向上 ・今年度中に <u>団塊の世代が全て 75 歳となる 2025 年を見据えた「第7次静岡県長寿者保健福祉計画</u> 」を策定するとともに、 <u>計画を踏まえた適切な数値目標の設定を検討</u>
4-1 ヒト、モノ、地域を結ぶ「基盤」づくり	○ 過疎・中山間地域の振興 ・人口減少や高齢化が著しい <u>過疎地域において</u> 、「集落ネットワーク」の形成など、 <u>集落機能の維持・活性化を図る施策と数値目標の設定を検討</u>